

(別紙)

開催要領

国際シンポジウム「Diverse plant genetic resources for future sustainable agriculture ～ 将来の持続可能な農業のための多様な植物遺伝資源 ～」の開催

1. 趣旨

「ムーンショット型農林水産研究開発事業」における研究課題「サイバーフィジカルシステムを利用した作物強靱化による食料リスクゼロの実現」では、野生植物などが持つ生物機能をフル活用し環境適応力の高い作物を迅速かつ自在に開発できる新技術「作物サイバー強靱化」を開発することにより、食料リスクを解決し、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現に貢献することを目標として、研究を開始しました。

現在、我々人類が食料として利用している植物は限られており、近年の環境変動はその生産に甚大な被害をもたらすといわれています。一方で、野生植物は環境適応に対して高いポテンシャルを持っています。本プロジェクトでは、これらが持つ強靱なストレス耐性特異プロセスを理解し、作物育種に利用できる技術の開発を目指します。

今回、野生植物など植物遺伝資源の多様性や強靱性に関する国内外の研究動向を共有し、将来の持続可能な農業におけるそれら遺伝資源の可能性について議論することを目的として、シンポジウムを開催します。

2. 開催日時・会場等

2022年(令和4年)7月16日(土曜日)13時00分～17時00分(時間は予定)

会場: 東京大学弥生講堂 一条ホール(東京都文京区弥生1-1-1)

オンライン同時開催 (Zoom ウェビナー、参加登録いただいた方へご案内をお送りいたします。)

3. 使用言語

英語

4. プログラム

- 13:00～13:05 **【開会の挨拶】**
・千葉一裕プログラムディレクター（東京農工大学 学長）
- 13:05～13:15 **【プロジェクト説明】**
・藤原徹プロジェクトマネージャー（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 13:15～14:00 **【基調講演 1 題】**
・Qifa ZHANG（中国、Huazhong Agricultural University）
- 14:00～14:30 **【講演 1 題】**
・井澤 毅（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 14:30～14:50 休憩
- 14:50～16:50 **【講演 4 題】**
・Cheng-Ruei LEE（台湾、National Taiwan University）
・内藤 健（農研機構）
・Alejandro BONIFACIO（ボリビア、Fundación PROINPA / Universidad Mayor de San Andrés）
・藤田 泰成（JIRCAS）
- 16:50～16:55 **【閉会の挨拶】**
・藤原徹プロジェクトマネージャー（東京大学大学院農学生命科学研究科）

（当日の状況によって発表内容に一部変更が生じる場合もございます。あらかじめご了承ください。）

5. 主催者

ムーンショット型農林水産研究開発事業「作物サイバー強靱化コンソーシアム」

6. 共催者

生物系特定産業技術研究支援センター

7. 後援

東京大学大学院農学生命科学研究科、農業・食品産業技術総合研究機構

8. 参加費:無料

9. 参加申し込み方法

参加登録は、以下の URL からお願いいたします。

<https://forms.gle/7oNQVEQ8he41KEw17>

【申し込み締切】2022 年(令和 4 年)7 月 7 日(木曜日)17 時 00 分

【定員】会場:先着 130 名、オンライン:1,000 名まで
(締切前でも、定員になり次第申し込みを締め切ります)

10. 事務局

作物サイバー強靱化コンソーシアム シンポジウム事務局

cybercropms(at)gmail.com * (at)は"@"に変更してください